

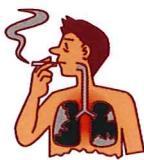


Q：俳優で名司会者の愛川欽也さんが肺がんで亡くなりました。どんな病気ですか。

A：肺がんは気管支、細気管支および肺胞領域の肺組織に由来するがんで、現在、日本におけるがん死亡の第1位を占めます。原因の第一は喫煙であり、たばこの煙の中には40種類以上の発がん性物質が含まれると言われていました。さらに自分が喫煙しなくとも周りの人が喫煙すると、受動喫煙により肺がんになる可能性が20〜30%高くなると言われていています。「1日の本数×喫煙した年数」を「喫煙指数」といい、大きいほど肺がん死亡のリスクが高く、4000以

上の人は要注意です。

症状は、慢性的な咳・喘鳴、胸痛・血痰・息切れなどですが、進行するまで無症状のことも多いのです。治療の方向性から、小細胞肺がんと非小細胞肺がんに大別されます。小細胞肺がんは全体の約10〜15%で、増殖の速度が速く、発見時すでに他臓器に転移していることが多い、悪性度の高いがんですが、抗がん剤や



放射線が比較的よく効きます。非小細胞肺がんは、抗がん剤や放射線が効きにくく、手術が第一選択となります。(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎055・288・1801